

平成25年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成24年6月25日

上場取引所 大

上場会社名 イオン九州株式会社

コード番号 2653 URL <http://www.aeon-kyushu.info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 聡一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 榊 隆之

TEL 092-441-0611

四半期報告書提出予定日 平成24年7月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績(平成24年2月21日～平成24年5月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	58,868	0.2	464		242		207	
24年2月期第1四半期	58,961	1.9	551		497		1,235	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	11.07	
24年2月期第1四半期	65.82	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	108,835		19,898			18.2
24年2月期	106,787		20,454			19.1

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 19,859百万円 24年2月期 20,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0.00		10.00	10.00
25年2月期					
25年2月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年2月期 期末配当金の内訳 普通配当 10円

25年2月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 10円 記念配当 3円

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,320	1.3	500	221.3	350	65.7	100		5.32
通期	259,000		3,500		3,230		1,300		69.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

25年2月期は12ヶ月8日の変則決算となるため、通期の対前期増減率は記載していません

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	18,787,619 株	24年2月期	18,787,619 株
期末自己株式数	25年2月期1Q	17,308 株	24年2月期	19,108 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	18,769,051 株	24年2月期1Q	18,767,174 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
(3) 追加情報.....	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における九州経済は、一部に緩やかながら回復の動きがみられるものの、海外経済の減速懸念や、国内での電力供給不足の懸念などから、景気の先行きについては依然として不透明な状況にあります。これらの影響によるお客さまの節約志向の継続や競争環境の激化から、当社の経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は、新たな店舗展開や既存店の活性化、魅力ある商品の展開やサービスの提供など、お客さまニーズへのさらなる対応を図ることで九州の成長とお客さまの暮らしの豊かさに貢献できるよう努めてまいりました。

<業績全般の概況>

- ・当第1四半期の営業収益は、588億68百万円（前年同期比0.2%減）となりました。
- ・食品の一点単価を戦略的に下げ低価格化を進める一方で、衣料品・住居余暇商品の荒利益率が向上したことで売上総利益率は0.1ポイント改善したものの、当第1四半期の売上構成比が年間でも低い期間となることもあり、営業損失については4億64百万円（前年同期に比べ86百万円改善）となりました。
- ・経常損失は、2億42百万円（前年同期に比べ2億54百万円改善）となりました。
- ・四半期純損失は、前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額6億12百万円を計上したことにより、当第1四半期は10億27百万円改善し2億7百万円となりました。

<当第1四半期の主な取り組み>

- ・イオンモール株式会社の運営するショッピングセンター（SC）「イオンモール福津（福岡県福津市）」内に、核店舗として「イオン福津店」をオープンいたしました。また、リカー売場・サイクル売場の専門店化を推進するため、品揃えを拡大するとともに専門知識を有する従業員を配置した「イオンリカー」「イオンバイク」を「イオンモール福津」の専門店ゾーンで展開いたしました。
- ・拡大するシニアマーケットに対応した品揃えや快適なショッピング環境を実現するため、「イオン唐津店（佐賀県唐津市）」と「イオン上峰店（佐賀県三養基郡）」を改装オープンいたしました。また、「イオン上峰店」では、上峰町と共業し普段のお買い物に不自由されているお客さまに向けた買物支援宅配サービス「上峰おたっしゅ便」をスタートいたしました。
- ・サイクル専門店の展開拡大に努め、「イオンバイク福津店（福岡県福津市）」のほか、路面店として「イオンバイク日田店（大分県日田市）」をオープンいたしました。なお、サイクル専門店は路面店及びSCテナントとして当第1四半期末現在で合計22店舗となりました。
- ・イオンのブランド「トップバリュ」商品の展開拡充に努めるなかで、毎月1日～7日までの1週間を「トップバリュ週間」として販売強化に努めてまいりました。また、暑い季節を快適に過ごすことを追求した機能性ウェア「トップバリュ クーリッシュファクト」では、従来のインナー・寝具類に加え、アウターウェアやカーペットなどのリビング用品まで取り揃え、展開を強化いたしました。
- ・当社は、イオンの電子マネー「WAON」の販売に継続的に取り組んでおり、当第1四半期には、ハウステンボス株式会社（長崎県佐世保市）の運営するハウステンボスの開業20周年を記念し、「ハウステンボスWAON」を発行いたしました。
- ・本年4月に、福岡県とイオン株式会社は包括提携協定を締結いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

【資産】

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて20億47百万円増加し、1,088億35百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加によるものであります。

【負債】

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて26億4百万円増加し、889億36百万円となりました。これは主に、当第1四半期会計期間末日が金融機関の休業日であったために、テナント預り金の資金決済が翌営業日に持ち越されたことによるものであります。

【純資産】

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて5億56百万円減少し、198億98百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、2012年4月5日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,294	4,823
受取手形	16	14
売掛金	1,135	1,411
商品	24,557	24,108
その他	6,763	6,631
貸倒引当金	13	13
流動資産合計	36,754	36,975
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	33,613	34,406
その他(純額)	13,875	15,019
有形固定資産合計	47,488	49,426
無形固定資産		
	127	126
投資その他の資産		
差入保証金	15,846	15,859
その他	6,572	6,449
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	22,416	22,307
固定資産合計	70,032	71,859
資産合計	106,787	108,835
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,442	2,000
電子記録債務	7,779	6,747
買掛金	15,749	15,277
短期借入金	6,400	3,900
1年内返済予定の長期借入金	10,220	10,960
コマーシャル・ペーパー	2,000	3,000
未払法人税等	1,406	97
賞与引当金	569	1,001
その他	11,211	18,821
流動負債合計	57,779	61,805
固定負債		
長期借入金	16,925	15,575
退職給付引当金	163	201
資産除去債務	1,250	1,267
その他	10,214	10,086
固定負債合計	28,553	27,130
負債合計	86,332	88,936

(単位：百万円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	9,192	9,192
利益剰余金	7,205	6,808
自己株式	34	30
株主資本合計	19,508	19,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	915	745
評価・換算差額等合計	915	745
新株予約権	31	38
純資産合計	20,454	19,898
負債純資産合計	106,787	108,835

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2011年2月21日 至2011年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自2012年2月21日 至2012年5月20日)
売上高	55,312	55,178
売上原価	40,555	40,365
売上総利益	14,757	14,812
その他の営業収入	3,648	3,690
営業総利益	18,406	18,502
販売費及び一般管理費	18,957	18,967
営業損失()	551	464
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	15	15
テナント退店違約金受入	36	25
補助金収入	49	20
差入保証金回収益	-	216
その他	32	31
営業外収益合計	151	326
営業外費用		
支払利息	81	86
その他	16	17
営業外費用合計	97	104
経常損失()	497	242
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除売却損	-	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	612	-
その他	101	-
特別損失合計	713	17
税引前四半期純損失()	1,208	260
法人税、住民税及び事業税	58	75
法人税等調整額	31	127
法人税等合計	26	52
四半期純損失()	1,235	207

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1) 前第1四半期累計期間(自2011年2月21日至2011年5月20日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期損 益計算書 計上額 (注)4
	総合小売 事業	ホームセンター 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,565	6,600	55,166	146	55,312	—	55,312
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	48,565	6,600	55,166	146	55,312	—	55,312
セグメント利益又は 損失(△)(注)1	532	△14	517	△24	493	△1,044	△551

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は、社内管理利益によっております。

2. 「その他」の区分は、総合小売事業とホームセンター事業に属さない販売形態の店舗で、現在は「イオンサイクルショップ」の店名でサイクル専門店を展開しております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

- ・報告セグメントごとの固定資産の減損損失については、重要性が乏しいため記載を省略しております。
- ・のれん等に関する情報については、該当事項はありません。

2) 当第1四半期累計期間(自2012年2月21日至2012年5月20日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期損 益計算書 計上額 (注)4
	総合小売 事業	ホームセンター 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,522	6,394	54,916	261	55,178	—	55,178
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	48,522	6,394	54,916	261	55,178	—	55,178
セグメント利益又は 損失(△)(注)1	559	△111	447	△30	417	△881	△464

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、社内管理利益によっております。
2. 「その他」の区分は、総合小売事業とホームセンター事業に属さない販売形態の店舗で、現在はサイクル専門店を展開しております。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。